

作成 令和5年9月30日  
摂津市議会議員 松本暁彦

令和5年第3回定例会一般質問

～本会議3日目・令和5年9月27日～ 議事録(抜粋)

### 3 PFOA 対策の現状について

#### 質疑概要

PFOA 対策について、これまでの幾度となく議会で取り上げている。国は PFOA 等に関する Q&A 集を作成し、またダイキン工業が遮水壁設置に係る取り組みを行うなど、進捗している。本議会では、それらの進捗状況について、市の対応状況も含めて質疑を行った。

#### ○松本議員

3 PFOA 対策の現状について、最近 TV 等でも取り上げられ、一層注目が集まっています。改めて PFOA に関する国の現状、取り組みについてどのようなものかお聞かせ下さい。

(略※)

#### ○福住議長

生活環境部長

#### ○生活環境部長

ペルフルオロオクタン酸 (PFOA) に関する国の現状及び取り組みについてのご質問にお答えいたします。

これまで環境省においては PFOA 等の土壌中の挙動予測、どのように効率的に除去できるかといった除去技術の開発等をテーマとした研究、また、農林水産省においては水、土壌等、農業環境からの農作物への PFOA 等の移行に関する基礎研究が行われて参りましたが、大きな動きとして、令和5年1月に「PFOA 等に関わる水質の目標値等の専門家会議」、「PFAS に対する総合戦略検討専門家会議」が国に設置され、学識経験者等の有識者による国内外の科学的知見等を踏まえた科学的根拠に基づく対応等の討議が行われております。

この討議の中で「PFAS に対する総合戦略検討専門家会議」監修のもと、国から令和5年7月時点での科学的知見等に基づいた「PFOS、PFOA に関する Q&A 集」が作成され、また、同専門家会議から国に対して「PFAS に関する今後の対応の方向性」が示されております。

今後、この対応の方向性が国において活用され、取り組みが推進されていくものと認識しております。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

(略※)

### ○松本議員

次にPFOA対策について、国の状況は理解しました。討議は注視すべきものです。Q&A集は一つ進展したと思います。

さて今年6月に民生常任委員会で行われたダイキン工業の視察で、PFOA対策として遮水壁設置に係る説明を受けましたが、市としては、当該企業の取組みをどう把握されているのか、見解をお聞かせ下さい。

### ○福住議長

生活環境部長

### ○生活環境部長

市内化学メーカーの自主的な対策の進捗状況は、大阪府が主催する神崎川水域 PFOA 対策連絡会議の場において、報告がなされております。遮水壁の設置に関しましても、グランドエリアでテスト遮水壁を設置し、効果検証結果を踏まえ、令和5年秋ごろに先行エリアから遮水壁の設置工事に着手することを、大阪府とも情報共有しております。

今後、対策連絡会議を通じて、市内化学メーカーの遮水壁の設置の進捗状況、効果等を大阪府とともに確認して参ります。

### ○福住議長

松本議員。

### ○松本議員

当該企業の遮水壁設置は周辺地域の PFOA 濃度低下につながる重要な取組みと考えます。しっかりと確認して頂ければと思います。

次に、先日から質疑されている太中浄水場の2号井戸におけるPFOA濃度の高い値の原因について市の見解をお聞かせ下さい。

### ○福住議長

上下水道部長

### ○上下水道部長

太中浄水場は地下水を水源とし、浄水場敷地内にある4本の井戸並びに敷地外にある2本の井戸から取水しております。

地下水の流れは地形的要因だけでなく、砂層など透水層や粘土層などの不透水層が地下でどのように分布しているかも大きく関係するため、こうした地質状況の影響により、太中浄水場内の狭い範囲の中においても、2号井戸が他の井戸よりPFOSおよびPFOAを多く含んだ水脈を取り込んでいるものと考え

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

られます。

しかし、各井戸の水質状況から地下水の流れを把握することは難しく、また、環境省が令和元年から令和3年度にかけて、全国の公共用水域及び地下水で実施したPFOS及びPFOAの調査では、19都府県において暫定目標値を超えている箇所があり、府内でも各所から検出されていることから、どの場所から流れてきた地下水が要因であるかを特定することは困難であると考えております。

水道事業者といたしましては安全で安定した水道水の供給に向けて、今後とも水質の保全に努めてまいります。

#### ○福住議長

松本議員。

#### ○松本議員

2号井戸の濃度が高いことについて特定困難であることは理解しました。隣の茨木市の地下水が指針値を越えた事例でも原因不明とされています。現状を踏まえ、検査をしっかりと行い水質保全に努められるよう要望致します。

最後に今後、市としてPFOA問題をどのように取り組んでいくのかお聞かせ下さい。

#### ○福住議長

生活環境部長

#### ○生活環境部長

本市は、これまで、国から示された手引書に基づく対応や、水環境全体の暫定的な目標値しか基準がないことから、大阪府等を通じて、国に対して早期に人の健康への影響について、科学的な知見の集積に努めるとともに、調査研究及びガイドラインの作成等を要望して参りました。

国の専門家会議が設置された経緯として、自治体からの目標値等の検討の対策を求める声があったことが明記されており、本市の要望の成果であると認識しております。

また、先ほども触れましたが国において、「PFOS、PFOAに関するQ&A集」が作成され、公表しております。このQ&A集は、住民の不安に寄り添い透明性を確保しながら適切な情報発信を行う観点から、科学的知見等に基づき、国が初めて示した見解でございますので、その情報を市のホームページに記載し、市民への正確な情報発信に努めております。

今後も、国、大阪府等から新たに情報が得られた場合には、適宜、市のホームページを更新し、情報発信に努めるとともに、「PFASに関する今後の対応の方向性」に基づいた国の対応状況を注視して参ります。

#### ○福住議長

松本議員。

## ○松本議員

国が動いた一つとして本市の要望の成果であると認識していると理解しました。

国において曝露量調査などの言葉も出ております。対策を国・府・当該企業へ引き続き求め、連携すると同時に、風評被害等の混乱を引き起こさぬよう留意し、市民の不安解消のため、しっかりと引き続き取り組まれるよう要望致します。

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

### <一般質問・項目一覧>

- 1 健都のエリアマネジメントについて
- 2 児童虐待防止の取組みの進捗について
- 3 PFOA 対策の現状について**
- 4 市民の命を有事から守る危機管理体制の構築について
- 5 生きる力を育むことについて
  - (1) いじめ対策について
  - (2) 教師不足について
  - (3) コト・モノ体験の重要性について
- 6 新型コロナワクチンの健康被害に関する市の対応について